

令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 （鳥取県）

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は1万3,700haで、前年産に比べ100ha（1%）の減少が見込まれます。

なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付見込面積は1万2,800haと見込まれます。

2 作柄概況

穂数は、田植期以降高温・多照で推移していたものの、7月の低温・日照不足の影響もあり「平年並み」となりました。1穂当たりもみ数は、7月の日照時間が少なかったものの、8月以降天候に恵まれたことから「平年並み」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「平年並み」となりました。

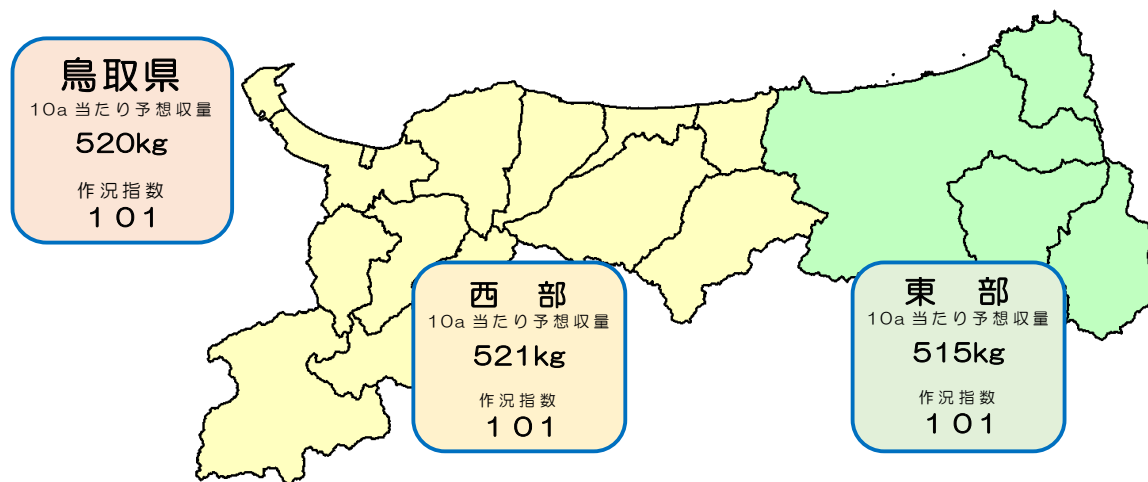
登熟は、もみ数が平年並みで、梅雨明け以降高温、多照に推移していることから、「平年並み」が見込まれます。

以上のことから、鳥取県の10a当たり予想収量は520kgで、前年産に比べ6kgの増加が見込まれます。作柄表示地帯別では、東部が515kg（前年産に比べ9kg増加）、西部が521kg（同2kg増加）と見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅（鳥取県1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した作況指数は101（平年並み）と見込まれます。

作柄表示地帯別では、東部、西部ともに101（平年並み）と見込まれます。

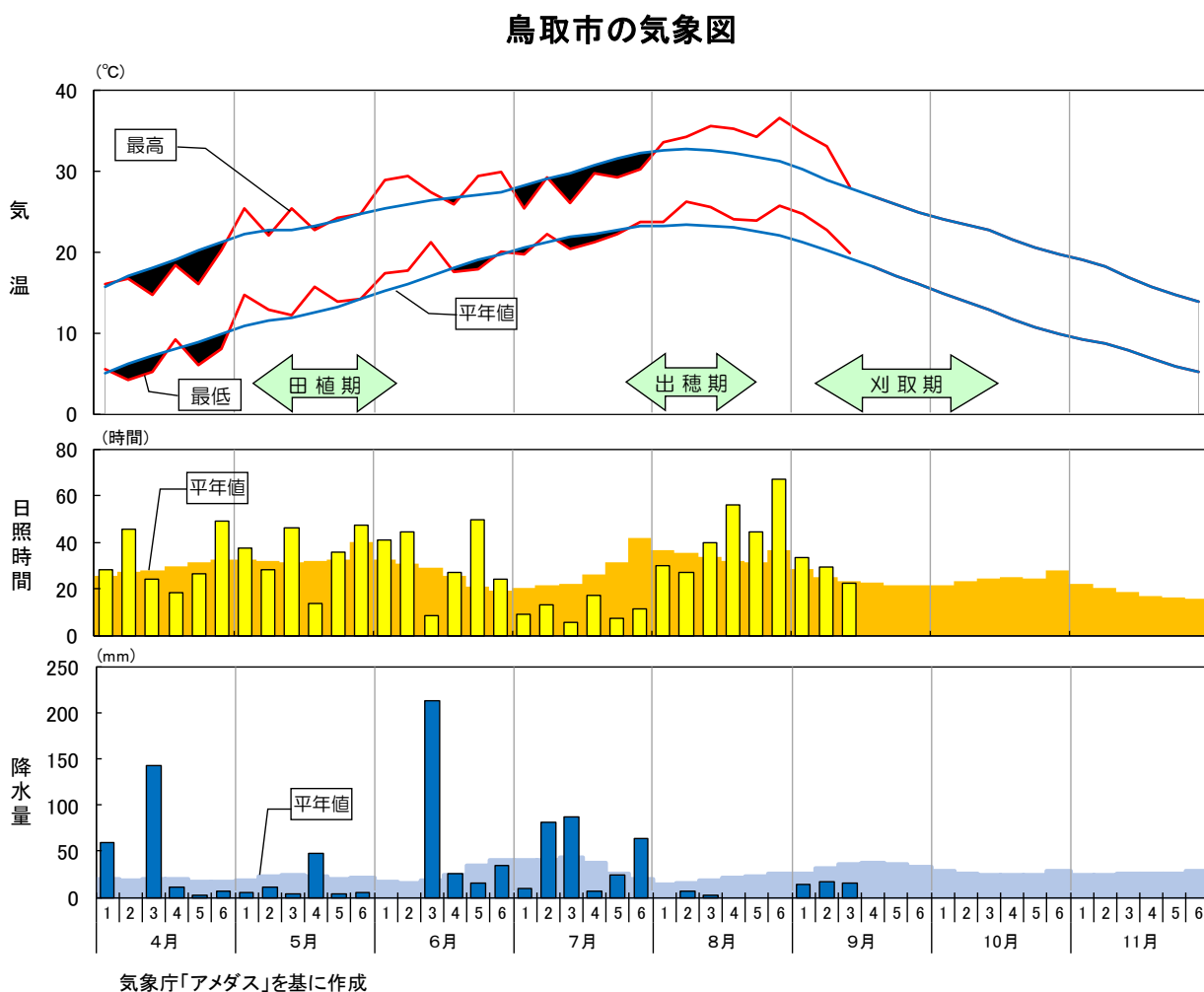
図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（9月15日現在）



3 予想収穫量（主食用）

主食用作付見込面積に 10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、6 万 6,600 t と見込まれます。

◎半旬別気象図



本資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 鳥取県拠点 統計チーム 担当：有本、地面
電話：0857-22-3201 FAX：0857-37-0428